

令和四年度 入学試験問題 国語（教員養成課程） 解答例

問一 二重傍線部 a、e のカタカナを漢字で書きなさい。（四点×五＝二〇点）

【解答】 a 愉快 b 鎮圧 c 迫害 d 虐待 e 筆致

問二 傍線部 A 「人口に膾炙した」、B 「擲論」の意味をそれぞれ書きなさい。（五点×二＝一〇点）

A 【解答例 1】 広く人々の口にのぼってもはやされる（という意味）。

【解答例 2】 世間の人々の話題や評判になって、広く知れ渡る（という意味）。

B 【解答例】 からかうこと（という意味）。

問三 傍線部 ① 「日ごろここにもやし給ふとも見ぬ人々の、かく戦ひし給ふは、いかなる人ぞ」を現代語に訳しなさい。（二〇点）

【解答例】 常日頃ここにいらつしやるとも思えない方々が、このように奮戦して下さるとは、一体どのような方なのか。

問四 傍線部 ② 「その外側はなにやら不穏です」とありますが、どのような点が「不穏」なのか、「外側」とは何かを明らかにしながら、五〇字以上六〇字以内で説明しなさい。（一五点）

【解答例】 この話が、対立抗争が非常に激しい地域で、敵の襲来も受ける可能性があるような立場の人間についての話であるという点。（55字）

問五 傍線部 ③ 「うとからぬおのれらしも」について次の問いに答えなさい。（二〇点）

(一) 二重傍線部 「し」を次の例にならって、文法的に説明しなさい。（五点）

(例) 問ひ^① けれ^② ば

① 過去の助動詞「けり」の已然形 / ② 確定条件の接続助詞

【解答】 強意の副助詞

(二) 二重傍線部「し」と同じものを、次の選択肢ア、エの中から一つ選び、記号で答えなさい。(五点)

ア 藤のおぼつかなきさま^ししたる

イ 折^ししも雨風うち続きて

ウ …と言ひ^しもいみじく覚えしなり

エ …と言ひ^しもいみじく覚え^しなり

【解答】イ

問六 傍線部④「かくな恨み給ひそ」を現代語に訳しなさい。(二〇点)

【解答例】こんなに恨みなさるな

問七 傍線部⑤「本自^二同根^一生、相煎何太急」について、次の問いに答えなさい。(二〇点)

(一) これを書き下し文にしなさい。なお「煎」は「にる」と訓じます。(二〇点)

【解答例】 本同根より生ずるに(生ず/生ぜしに)、相(ひ)煎る(こと)何ぞ太だ急なる

(二) この部分を現代語に訳しなさい。なお「急」は「激しい」という意味です。(二〇点)

【解答例】 もともととは同じ根から生まれたものであるのに、どうしてこんなにも激しく豆を煮るのか。

問八 傍線部⑥「頓珍漢な受け答え」とありますが、どういう点で「頓珍漢」なのか、六〇字以上八〇字以内で説明しなさい。(三〇点)

【解答例】 実際は単なる馬のことを話しているに過ぎない男の発言を、明恵上人が仏教の深い真理を意味すると聞き間違え、会話がちぐはぐになってしまっているという点。(73字)

問九 傍線部⑦「論語」について、次の語句をすべて用いて、五〇字以上六〇字以内で説明しなさい。(一五点)

言行録 儒家 四書

【解答例】 儒家の祖とされる孔子およびその弟子たちの発言・行動をまとめた言行録で、後世、『孟子』などととも四書の一つに数えられた。(60字)

問十 傍線部⑧「どう考えても虚誕としか思えないような、無責任な話」について、次の問いに答えなさい。(六〇点)

(一) 筆者は、「どう考えても虚誕としか思えないような、無責任な話」に対して、兼好がどのように向き合っていると考えているか、八〇字以上一〇〇字以内で説明しなさい。(二〇点)

【解答例1】面白そうな話は信用できず、人から聞いた話をむやみに吹聴すべきではないけれど、神仏の起こした奇蹟や権者の行いについては否定しても生産的ではないので、報告をするにとどめ、適度な距離をとるといふ向き合い方。(100字)

【解答例2】怪しげで不確かなことについては語るべきではないけれど、神仏の起こした奇蹟や権者の行いについては否定しても生産的ではないので、口にはするが、余計な評価はせず適度な距離をとるといふ向き合い方。(94字)

(二) (一)で答えた兼好の向き合い方について、あなたはどのように考えるか、具体例を挙げながら二五〇字以上三〇〇字以内で述べなさい。(四〇点)

【解答例1】兼好の神仏や高僧の起こした奇蹟については否定もせず、ただ伝わった内容だけを示すという態度に、兼好の現実主義的な考え方を感ぜました。兼好が生きた時代は、神仏や高僧の奇蹟ということ自体が信仰の対象であり、それが人々に希望や救いを与えていた現実もあつたのではないのでしょうか。実際、何か困難に直面したときに、よく当たると評判の古い師に助言を求め、その助言を支えにして困難を乗り越える人がいることも事実です。そう考えると、奇蹟の存在そのものについては判断は下さないが、奇蹟が及ぼす利益や救いというものは確かにあり、それは認められるべきと考えられている兼好の現実的価値観を感じることができます。(289字)

【解答例2】兼好は、どう考えても嘘としか思えないような、怪しげで不確かなことについては語るべきではないと言っているが、私は反対である。たとえ当事者にとつてそれが嘘だと感じられる情報であつたとしても、そのような表現がコミュニケーションにおいて機能することがあるからである。例えば私の祖母は、亡くなる直前、「私はもう大丈夫だから、受験頑張つて」と、笑顔で私を受験会場に送り出してくれた。私には祖母が大丈夫だとはとても思えなかつたが、私に余計な心配をかけないようにしてくれた祖母の気遣いを感じることができた。たとえ嘘の情報でも、その情報がむしろ人と人との信頼関係を強める場合もあるのだ。(284字)